



学習習慣を確立しよう!

新学期が始まりました。この1年を実りあるものにするために、それぞれ次のことに心掛けていきましょう。

<1年生>

- 中央生としての生活習慣を確立する。
- 高校の学習スタイルである「予習→授業→復習」を実行する。

<2年生>

- 文理に応じた学習習慣を早期に構築する。
- 学部学科研究等を通して、夢を見つける。
- 夢実現に向けた計画を立て、それを実行する。

<3年生>

- 受験生としての学習方法を再確認・再考する。
- 早めに進路目標を設定し、強い意志をもって学習に取り組む。

以上のことを実践し、早くそれぞれの学年にあった学習習慣を確立しましょう。

今が自分を変えるチャンス!

3年間という限られた高校生活を有意義に送る上で、今の時期をどう過ごすかは、大きな意味を持ちます。

2、3年生は高校入学時を思い出してみてください。文武両道を実現するという強い意志で、進学校である本校を自らの意思で選んだはず。学年・クラスが変わった今、いろんな意味で自分を変える大きなチャンスだと思います。

この時期にみなさんにお願したいことは、失敗を恐れず何事にも積極的にチャレンジして欲しいということです。ここで言う「失敗」とは、明確な目標を設定し、それを実現しようと最大限の努力をした上での失敗のことです。そのときに、どこに原因があったかをしっかり考えて、次に活かすことが大事です。失敗から学ぶことは多いはず。

勉強や進路のことで迷うことの多いのが高校時代です。分からないことがあったら、遠慮せずに学級担任や教科担任の先生、進路指導室を訪ねてください。

50期生進路 国公立大に164人が合格

今春卒業した50期生も、進路実現のために努力を続け、各自の進路を切り拓いていきました。鹿児島大学に97人が合格したほか、京都大学や名古屋大学などの難関大学にも見事合格。国公立大合格者総数は164人となりました(現浪合わせて202人)。みな

国公立大学	現役			合計
	推薦 AO	前期	後期	
静岡大		1		1
名古屋大	1			1
京大		1		1
岡山大	1			1
広島大		1		1
九州大		1		1
熊本大		7		7
鹿児島大	4	69	24	97
その他の大学	1	38	15	54
国立大総計	7	118	39	164

さんの多くが鹿児島中央高校を選んだ理由のひとつは「大学に進学するため」ではないでしょうか。新学期が始まった今、高校時代を本校で過ごす意義を再確認して、学業に励んでください。在校生が50期生以上に躍進することを期待しています。

「シラバス」活用のすすめ

進路指導部では、毎年、『好学通信』を配布しています。これは、今年度みなさんが学ぶ科目について、「学習目標」「指導計画」などを科目別にまとめたもので、一般に「シラバス(Syllabus)」と呼ばれています。シラバスを見れば、「今何を学ぶ時期で、いつまでにどのような学習内容を、どのように学習するのか」が分かります。つまり、自分が「今どこにいて、どこへどのように向かうのか」が示された『学習の地図』を手に入れているようなものです。

シラバスの3要素

- ① 学習目標
- ② 評価方法・評価のポイント
- ③ 指導計画

受験勉強は3年次からスタートするものではありません。1年次からの学習の積み重ねが非常に重要になってきます。高い志を持つ本校の生徒が積極的かつ自発的に学習に取り組むことが進路志望実現のための第1歩です。日頃の学習の中で、シラバスを積極的に活用し、自ら考える学習を心がけてください。

【3学年部から】

3学年への進級おめでとう。いよいよ本当に受験生ですね！4月は新しいクラスでスタートしましたが、もう慣れましたか？受験という団体戦を乗り切る仲間、そしておそらく一生のつきあいとなる友人たちとの出会い。ぜひクラス一丸となって団結するムードを創り上げて下さい。

一日遠足は最高の天気で、達成感もひとしおでしたね。まさに受験は登山のように山あり谷あり、苦労があればこそ頂上を極めたときの充実感を味わえます。この1年、人生の中でも最高レベルのエネルギーが必要だと思います。模擬試験も多く行われます。臆することなく頂上を目指して突き進んで下さい。

今月は、今年一年の受験スケジュールを概観しておきます。

<b>4月</b> 学研模試(25日)
<b>5月</b> 5月1日：センター試験まで260日 高校総体
<b>6月</b> 6月1日：センター試験まで229日 進研マーク模試 文化祭
<b>7月</b> 7月1日：センター試験まで199日 進研記述模試 三者面談
<b>8月</b> 8月1日：センター試験まで168日 オープン模試(希望者)
<b>9月</b> 9月1日：センター試験まで137日 体育祭 進研マーク模試
<b>10月</b> 10月1日：センター試験まで107日 センター試験出願 進研記述模試・全統記述模試
<b>11月</b> 11月1日：センター試験まで76日 最後の進研マーク模試 河合塾センタープレテスト
<b>12月</b> 12月1日：センター試験まで46日 三者面談・北予備センター模試
<b>1月</b> 1月16日・17日：センター試験 1月末：国公立大学出願
<b>2月</b> 1日～：私立大学受験 25日～前期試験
<b>3月</b> 1日：卒業式 6日～：前期試験合格発表 12日～：後期試験

- ⇒ 文武両道のこの期間に  
どれだけ学力を伸ばせるか？
  
- ⇒ 8月までに  
国・数・英を完成させよう  
特に弱点を克服すること  
(2次力養成も)  
  
夏を制する者は  
受験を制す！
  
- ⇒ 11月までに  
理・地公を完成させよう  
(2次力養成も)  
  
実際の出願時に  
10月の記述模試の  
2次力判定を利用します。
  
- ⇒ センター試験重視の演習！  
  
いよいよ本番！  
平常心で臨もう
  
- ⇒ センター試験は通過点。  
2次試験に向け邁進！  
小論文の仕上げも。  
笑顔で卒業しよう。

【2学年部より】

…残念なことです。が、昨今、この信州でもモノやサービスが溢れ始めました。その代表例は、携帯電話です。アニメやゲームなどいくらでも無為に時間を潰せる機会が増えています。スマホ依存症は知性、個性、独創性にとって毒以外の何物でもありません。スマホの「見慣れた世界」にいると、脳の取り込み情報は低下し、時間が速く過ぎ去ってしまいます。

「スマホやめますか、それとも信大生やめますか」

スイッチを切って、本を読みましょう。友達と話をしましょう。そして、自分で考えることを習慣づけましょう。自分の持つ知識を総動員して、ものごとを根本から考え、全力で行動することが、独創性豊かな信大生を育てます。…

これは、先日の「携帯・スマホの使い方」講演会でネットポリスの戸高さんが紹介した、今年4月に行われた信州大学の入学式で実際に述べられた学長の式辞の一部である。「スマホやめますか、それとも信大生やめますか」の表現が斬新である。これを君たちに向けて問い直せば、「スマホやめますか、それとも中央生やめますか」ということになる。

ところで、オトナになると、日本人はコーヒーに砂糖を入れなくなる。コーヒーショップに入っても、ローソンでも、コーヒーを注文して「お砂糖とミルクはお使いになりますか」と尋ねられると「いらぬ」と答える。

「オトナは、コーヒーの苦みを求めている」

「甘いコーヒーなんて、子供の飲むものだ」

「ホンモノのコーヒーは、ブラック以外にありえない」

そんな難しいことを言う人でも、子供の頃はコーヒー茶碗にお砂糖を3杯も4杯も入れて、ミルクやクリームもタップリ入れて、とろんとろんにして飲むのが大好きだったはず…。青年になって、男子は「デート中に甘いのを飲むのがカッコ悪い」と思えばお砂糖を減らすし、女子はダイエットを考えたその日から、お砂糖を減らしていく。ミルクを入れて白く濁ったコーヒーがカッコ悪いと思う男子も結構いる。こうして、人生の悲哀を全て背負ったような顔で苦いコーヒーをすする、そんな大人たちが大量発生することになる。そんなに渋い顔をしてたら、さぞかしコーヒーが旨くないんだろうが…、これが日本でのオトナのルールである。全ては渋く、苦く、難しく、苦みや難しさの中に深い妙味がある、これが「オトナになる」ということだ。

「オトナになる」途中のレールの上に置いても、全ては渋く、苦く、難しく、苦みや難しさの中に深い妙味が出てくるモノであることは明らかなことだ。君たち中央生は勉強と部活動との両立に懸命になり、その難儀さに反吐が出そうな経験をしたことがあるだろうか。ヘトヘトになり、毎日を駆け回り、苦いというか、渋いというか、本当に顔を歪めて…。勉強と部活動とを本当に両立できている諸君は、そういう顔をしているもんだ。そういう顔をして「オトナ」への階段を一気に駆け上がり、本物の受験生へと変身していくものだ。

これまでの鹿児島中央高校生の多くが、2年生の時に心身ともに大きく成長して「オトナ」になっていったという。

では、改めて諸君に問う…「甘えるのやめますか、それとも中央生やめますか」

(文責 濱川博司)

## 【1 学年部より】

「入学して1 週間、死に物狂いで勉強した。あの気持ちを3 年間持ち続けられれば違ったのに・・・。」  
この言葉は、30 数年前に自分が鹿児島中央高校に入学した直後に、卒業生の先輩の手記で目にした文章で、今でも鮮明に覚えています。入学直後から開始された朝課外に7 限授業、数学の日々題に英作基本文例600 の小テスト、数学の板書のプレッシャーに休日課題、4 月中は新入生だけ毎日7 限目が団体訓練の練習という状況に、「とんでもない学校に入学した。」が正直な気持ちでした。上記先輩の言葉通り、入学後の1 週間は毎朝半分しか開かないような寝ぼけ眼で自転車を走らせ、中央高校の生活に慣れるのに必死でした。しかし、慣れとは恐ろしいもので、大学受験を目前にして同様の後悔をしている自分がいました。情けない話です・・・。

鹿児島中央高校生は、受験という人生の大きな困難を乗り越えることで人として成長するのです。

53 期生入学前の3月26日、前任校の女子生徒3名が鹿児島中央高校まで自分を訪ねてくれました。彼女たちは1年間の予備校生活を経て、それぞれ鹿児島大学医学部医学科、九州大学工学部、筑波大学に合格し、わざわざその報告に来てくれたものでした。その中の一人、鹿児島大学医学部医学科に合格したYさんは高校3年次に英検準1級に合格するほど英語力の優れた生徒でしたが、自分が忘れられないのは彼女の物事に対する真摯な姿勢でした。丁寧な文字で予習や休日課題に誠実に取り組み、小テストは一切手抜き無く全て合格でした。人は誰でも体調がすぐれなかつたり、疲れて眠気が出る時はあるはずですが、自分は3年間彼女の授業を担当しましたが、授業中に居眠りどころか欠伸すら一度も見ることがありませんでした。いつも清楚な物腰で制服の襟元のリボンが緩んでいることも無く、清掃時間は両膝を床に付けて廊下を雑巾がけしており、自分は「品格」とはこういう姿を言うのだろうとっていました。医学部医学科に合格する以前に、「人として合格」でした。

53 期生が、これからの高校生活で各自の進路実現を果たすために必要なことは何でしょうか。

53 期生が入学して約2 週間が過ぎました。その間皆さんの様子を見てみると、挨拶が徐々に良くなり、清掃への取り組みも良好で、鹿児島中央高校伝統のロウ引きを一生懸命に取り組んでいるようです。全校朝礼時の移動や集合も早く、廊下のロッカー上は綺麗に整理整頓されています。上記先輩の言葉を借りるなら、この2 週間は必死で高校生活に慣れようとする「学年としての集団力」を感じています。あとは今の気持ちを3 年間持ち続けられるかです。自分は、「鹿児島中央高校生は3 年間かけて鹿児島中央高校生になる」と思っています。3 年間の高校生活の中では辛いことや悩むこともあると思いますが、きついのはあなた一人ではありません。周囲には苦楽を共にする仲間である53 期生の存在がありますし、今の姿勢を維持できれば「真の鹿児島中央高校生」へと成長していけると確信しています。

高校生活を送る上で、53 期生に心掛けて欲しいことです。

- 1 当たり前のことを、当たり前の姿で、当たり前にする。
- 2 そして、その姿勢を認める集団であること。
- 3 人に迷惑をかけない（友人や保護者だけでなく、勿論、自分自身にも）。
- 4 何事も一生懸命にやる（学習も、部活動も、清掃も、学校行事も）。

上記のことが達成出来れば、「53 期生全員の進路実現」に近づけると思っています。頑張りましょう。（文責・廣瀬）